



# 防災の日給食



豊田市

9月1日は「防災の日」です。防災の日は大正12年(1923年)に発生した、関東大震災を教訓として定められました。また、台風の影響を受けやすい時期でもあるため、全国各地で避難訓練や防災訓練などが行われています。

市内の給食センターでは、災害時に備えて乾燥みそ汁を備蓄しています。毎年、9月1日に備蓄みそ汁や保存期間の長い食品を使用した「防災の日給食」を実施し、子どもたちが防災について考える機会にしています。

## 給食で炊き出し訓練 ～旭中学校の取組～



▲おにぎりを作って食べる児童の様子



▲給食センターの備蓄食材

旭中学校では、平成19年から給食で炊き出し訓練を行う「防災の日給食」を実施しています。災害時に迅速に対応できる能力を培うことを目的に、食事の配給を意識し、ランチルームに隣接した屋外スペースで避難生活を想定した給食を食べます。



▲給食を順番に受け取る生徒の様子

断水

停電

を想定した旭中学校の 防災の日給食

### バナナ

皮をむいて、そのまま食べることができます。災害時に不足しやすいエネルギーやビタミンを補給します。

### おにぎり(ゆかりごはん・のり)

ビニール袋にゆかりごはんを入れて、おにぎりを作って食べます。

### キャベツ入りメンチカツ

紙袋にカツを配食して食べます。

### 備蓄みそ汁

学校に備蓄されている粉末みそと乾燥野菜を使用しています。

## 生徒の感想

- ・食器を使わないので、食べにくかったですが、災害がおきたときのためのよい経験になりました。
- ・これから外で食べることがあるかもしれないので、防災の日給食のようにスムーズに移動して食べられるようにしたいです。
- ・災害時には、食べ物だけでなくいろいろな面で不自由なことが出てくると思うので、少しでも生活をよくするために、いろいろな視点をもって行動することが必要だと思いました。



▲屋外で給食を食べる生徒の様子